

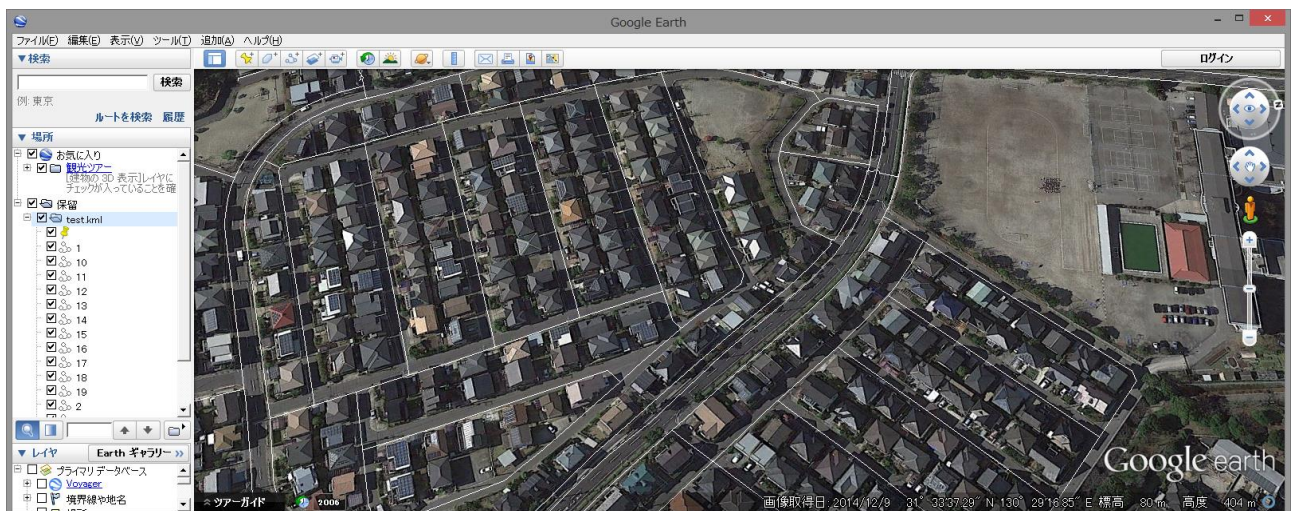
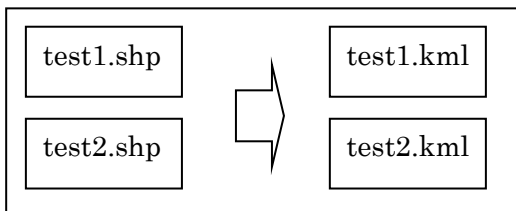
SHP ツール バージョン 8.1.7 更新記録

2015/03/29
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>

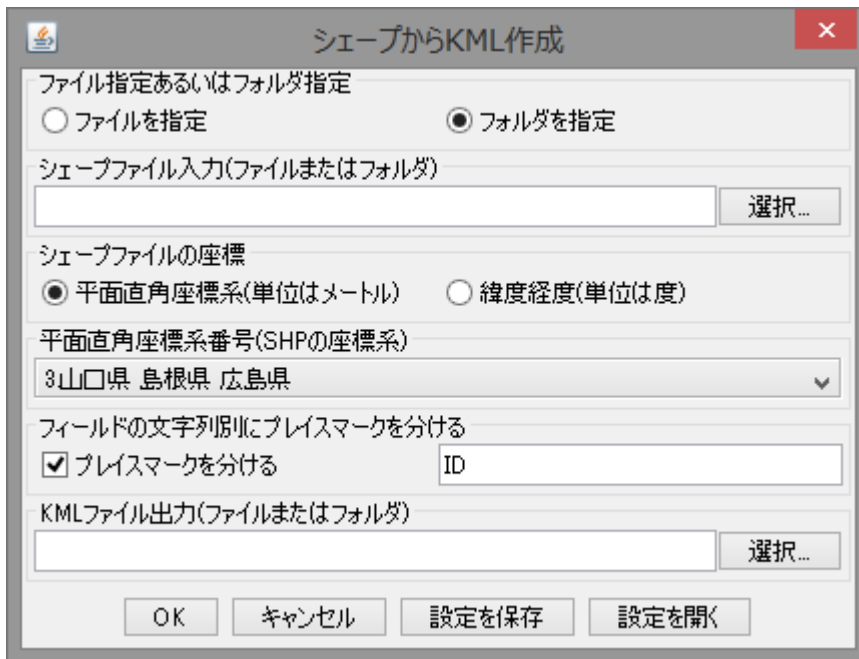
1. シェープから KML 作成

新メニュー[シェープから変換]-[シェープから KML 作成]を追加しました。

シェープファイルから GoogleEarth で表示できる kml ファイルを作成します。



上図は、作成した kml を GoogleEarth で開いた例です。



ファイル指定あるいはフォルダ指定

変換するシェープファイルを直接指定するか、フォルダを指定して、そのフォルダ内のシェープファイルを全て変換するかを選択します。

シェープファイル入力(ファイルまたはフォルダ)

変換するシェープファイル、あるいはフォルダを指定します。

シェープファイルの座標

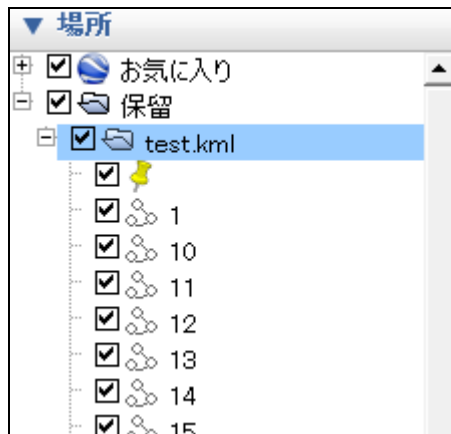
シェープファイルの XY 座標が平面直角座標系でのメートルか、緯度経度の度かを指定します。

平面直角座標系番号(SHP の座標系)

シェープファイルの座標は平面直角座標系で記録されている場合、緯度経度に変換するため、平面直角座標系番号を指定します。

フィールドの文字列別にプレスマークを分ける

シェープファイルのフィールド名を指定して、そのフィールドに記録されている文字列別に kml のプレスマークをわけます。例えば指定したフィールド「ID」に記録されている文字列が「1」「10」「11」「12」...とすると、下図のようになります。



KML ファイル出力(ファイルまたはフォルダ)

出力する kml ファイル名、あるいはフォルダを指定します。フォルダ指定の場合、作成する kml ファイルのファイル

名はシェープファイルと同じになります。

シェープファイルのタイプが「PointZ」「PolylineZ」「PolygonZ」など Z 値がある場合、kml にはその Z 値を出力します。Z がない場合、kml に出力する座標は緯度経度のみです。